

<第13節終了時点順位表>

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	筑波大学	8	1	4	28	11	+17	29
2	流通経済大学	9	3	1	32	21	+11	28
3	国士舘大学	6	2	5	26	17	+9	23
4	駒澤大学	7	5	1	34	17	+17	22
5	中央大学	4	6	3	25	36	-11	15
6	東京学芸大学	4	8	1	17	24	-7	13
7	順天堂大学	4	8	1	23	35	-12	13
8	亜細亜大学	1	10	2	12	36	-24	5

★得点ランキング★

11ゴール	鴨川 奨(順大)
7ゴール	原 一樹(駒大)
	赤嶺真吾(駒大)
	兵働昭弘(筑波大)
	杉本恵太(流経大)
6ゴール	岡本勇輝(流経大)
	他2名

★アシストランキング★

6アシスト	藤本淳吾(筑波大)
5アシスト	中後雅喜(駒大)
4アシスト	飯島 慎(順大)
	阿部 嵩(流経大)
	栗澤優一(流経大)
	小林優希(中大)

赤川がとうございました！！

10月31日の筑波大戦で赤い物を身につけて駒大を応援していただいた皆さん、当日コマスタフが配布していたTシャツを着て応援していただいた皆さん、ご協力ありがとうございました！残念ながら敗れましたが選手たちも応援が励みになったと言っておりました！12月からインカレも始



りますが、場合によってはインカレでもTシャツ配布活動を行いたいと思います。これからも駒大サッカー部への絶間ない応援よろしくお願い致します！！



鈴木祐の試合前日の怪我で急遽出番の回ってきた桑原だが、落ち着いたプレーで鈴木祐の穴を埋めていた



牧野の久々の出場は優勝のきっかけとなった。2失点は喫したものの安定したプレーをみせてくれた

◀ 廣井はワールドクラスの平山に空中戦では充分勝っていた



同点弾を決めた鈴木亮だがその後再びネットを揺らすことはできなかった

10月31日 14:10 西が丘サッカー場	
駒大 1 (4位・22)	2 筑波大 (1位・28)
得点者(アシスト)	
【筑】13分:鈴木達也 3	
【駒】21分:鈴木亮平 1(桑原 靖 1)	
【筑】65分:鈴木達也 4(平山相太 1)	
KOMAZAWA	TSUKUBA
GK①牧野利昭(3)	GK①来栖由基(3)
DF⑬筑城和人(2)	DF②川端佑介(3)
DF②桑原 靖(3)	DF⑥植松弘樹(4)
DF⑮廣井友信(2)	DF⑭阿部翔平(3)
DF④小林 亮(4)	DF⑳石井雄真(2)
MF⑥中後雅喜(4)	MF⑧藤本淳吾(3)
MF⑦鈴木亮平(3)	MF⑨秋田政輝(4)
(81分)②小林竜樹(1)	(89分)⑨高向隼人(4)
MF③中嶋祐太(4)	MF⑫今田 傑(1)
(71分)③大澤陽介(4)	(45分)⑩兵働昭弘(4)
FW⑨赤嶺真吾(3)	MF⑬岡田 隆(2)
FW⑩巻 佑樹(2)	FW⑦鈴木達也(4)
FW⑪原 一樹(2)	FW⑪平山相太(1)
(79分)①田谷高浩(1)	
S U B	S U B
GK②太 洋一(4)	GK③山田慎太郎(2)
DF⑮塚本泰史(1)	DF⑯中野洋司(3)
MF⑩関 光博(4)	MF⑰麻生耕平(1)
MF③八角剛史(1)	FW⑰佐々木惲(2)
	FW⑱富岡英聖(2)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	木山隆之
【駒】29分:廣井友信(C)、41分:鈴木亮平(C)	
【筑】75分:岡田 隆(C)、81分:阿部翔平(C)	
[シヤト]9:10[CK]7:17[CK]11:5[PK]0:0[直接FK]19:23[間接FK]15:4[OS]5:4[主審]斎藤敏一[観衆]約1000人	
※上記データは全て左側の数字が駒澤	

優勝は果たして...

今節の結果により優勝争いは筑波大、流経大の2校に絞られた。最終戦は両チームが激突し勝利したチームの優勝となる。また引き分けの場合は得失点差で筑波大の優勝となる。1部昇格元年でここまで来た流経大が、駒大を撃破し優勝へ3年ぶりの王座奪還上り調子の筑波大が11月7日その答えが明らかになる！



試合後コメント

DF鈴木祐輔主将(4年)
「まず自分がピッチに立っていなかったことが悔しいです。怪我が情けない。でも大臣杯決勝も自分がいなくても勝ってなんで慢心じゃないですけどやってくれることを信じていました。今の現実を受け止めて、最終戦勝って優秀の美しじゃないですけどインカレにつなげたいです」
GK牧野利昭(3年)
「実力の差って言ったならそれまでですけど、勝ちたかったです。全体を見てシュートまではいけてたんでフィニッシュの大事さというのを感じました。監督にはもっと体割って気持ち出してやれって言われたんで、そういう意味ではまだまだです」

DF小林 亮(4年)
「試合の入りは流経大戦に引き続きウチらしく泥臭いっていうかある程度そういう部分ではできていました。失点はちょっとした気の緩みで決められた点だったんですけど、1点取られたら2点返せばいいってことで駒澤らしく攻めていこうっていうこと話しました。前半のうちに1点追いついたんである程度後半もウチのペースで試合を進めていたんですけどやっぱり一本にやられてしまった感じだったので残念です。4年生はほんと最後のなんで、リーグ最終戦、インカレでは悔いの残らない戦いをしたいと思います」
OB深井正樹選手(現・鹿島アントラーズ)
「なかなか勝ち続けることは難しいんで...。まだインカレもあるんで。近年、リーグ戦を取ってインカレを獲れないってことが続いているんで、リーグダメでしたけれど、インカレが獲れるように頑張ってもらいたいです」